

【書く・なぞる】俳句 小林一茶 三

名月や 膝にのこる 父の影

下萌や 雀の雀 子をこぼす

我が肩に 大きなのっかる 雪の粒

寝るときも 子に鼻歌や 夜の雪

みの虫や 母が手紙を 読む夜更け